

令和3年度 下新宿自治会の基本方針

(1) 下新宿を取り巻く環境の変化に相応した基本的考え

- ▶ 昨年4月以降の自治会のイベントは新型コロナウイルス感染症対策としてことごとく中止をせざるをおえませんでした。今後、新型コロナウイルスとは長い付き合いになると思われますので、「新しい生活様式」等を活動の中に取り入れながら、安全・安心で、互いに支え合いながら、更なる顔の見える街づくりと地域の和を大切にする住みよい地域社会をつくるために取り組んで参ります。
- ▶ この地域においても公共土木工事として江戸川放水路の高潮対策として堤防かさ上げ工事中です。
自治会としても、行政の防災対策に頼るのではなく、自らが積極的に防災に対し備えることが必要ではないでしょうか。

具体的には、

- 1) 様々な事業活動を通じ、更なる顔の見える街づくりと、「住んで良かった」と感じる温かい心のかよう自治会運営に努めて参ります。
- 2) 下新宿を支える「ひまわりの会」「タンポポの会」の更なる活動支援を図って行きます。
- 3) 会報として自治体・警察・妙典小・自治会からの配布・回覧・掲示で周知していますが、この会報をホームページ(HP)に掲載していつでも閲覧できるようにします。

この3本の柱を中心に取り組んで参ります。

また、将来の自治会活動を更に発展させる為には、自治会員の参加型支援役員と組長の積極的参加が何よりも重要であると考えております。

〈課題〉

- ① 次代を担う若い後継者を育成すると共に災害対応準備、各行事を通じての企画を新しい発想で考え実行することが必要。
- ② タンポポの会は、今後の自主活動に期待したい。
- ③ 将来を考え女性の意見がもっと反映出来る自治会活動を行うために若い世代の方々が、ひまわりの会を通じて様々な活動に積極的に参加できる自治会運営の継続することが必要。

〈方向性〉

- ① 自治会員で50歳～75歳の新しい考えを持つ人が理事を担い、新しい街づくりに貢献してほしい。又将来を担う若手（40代の子育て中の意欲ある男性、女性（年間行事のお手伝い）を積極的に参加してほしい。
- ② 災害時の相互扶助の精神をもう一度自治会員一人ひとりが考えて、地域の”安全・安心の街づくり”に参加してほしい。
- ③ 現在女性理事は2名いますが、将来理事の半分を女性に担ってもらい、地域貢献につなげて頂きたい。

(2) 幅広い住民参加の自治会

- 1) 総会前に議案書を全会員（集合住宅を除く）に配布し、自治会運営についてご理解をいただきたい。（ご意見のある方は、会長、副会長へお知らせ下さい。）
- 2) 顔の見える街づくり（近所同士の連携やコミュニケーションの強化）及び"世代間の交流"を目指して、レクリエーション行事を実施する。また新入会員の募集（集合住宅を含めた地域の皆さんの自治会活動への参加促進）気軽に子育て・介護相談できる地域窓口（行政への仲介窓口）を継続します。
- 3) 防災対策の強化
 - ▶ 防災用具備品の使用方法を学べる時間を取ります。
（下新宿祭りと同時開催）
 - ▶ 新規自治会員については防災マニュアルの配布をいたします。
（新規加入会員・集合住宅会員については別途お知らせ致します。）
 - ▶ 実践的な防災訓練（各家庭における防災訓練、防災組織とその役割と機能の確認、行動訓練、炊き出し訓練）を実施する。防災備品のさらなる整備拡充